

2022年度 万代基金 報告書

本部棟前の風景：堀田理事長撮影（2023年4月）

ご寄付いただいた皆様に感謝を込めてご報告いたします。

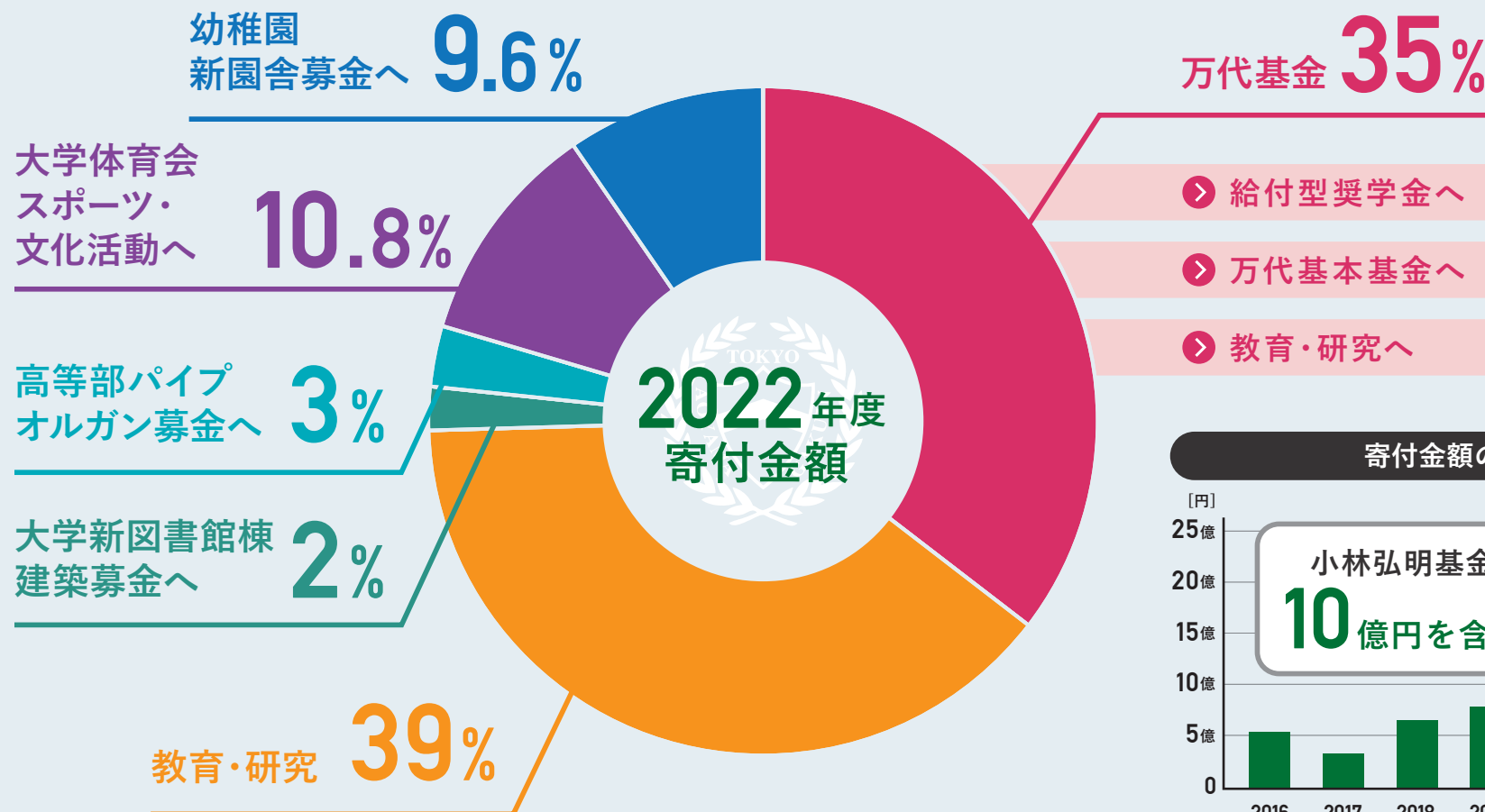


学校法人 青山学院



2022年度のご寄付の状況をご報告いたします。

11億 8,295万 2,255円



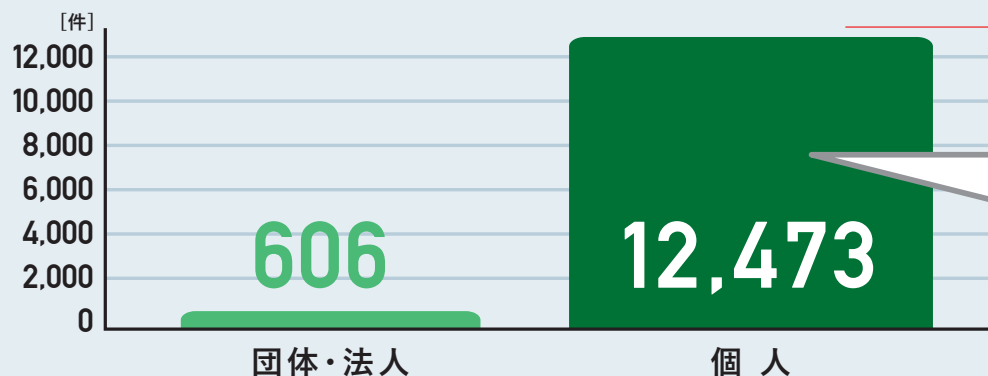


青山学院は 多くの方々のご寄付により 支えられています。

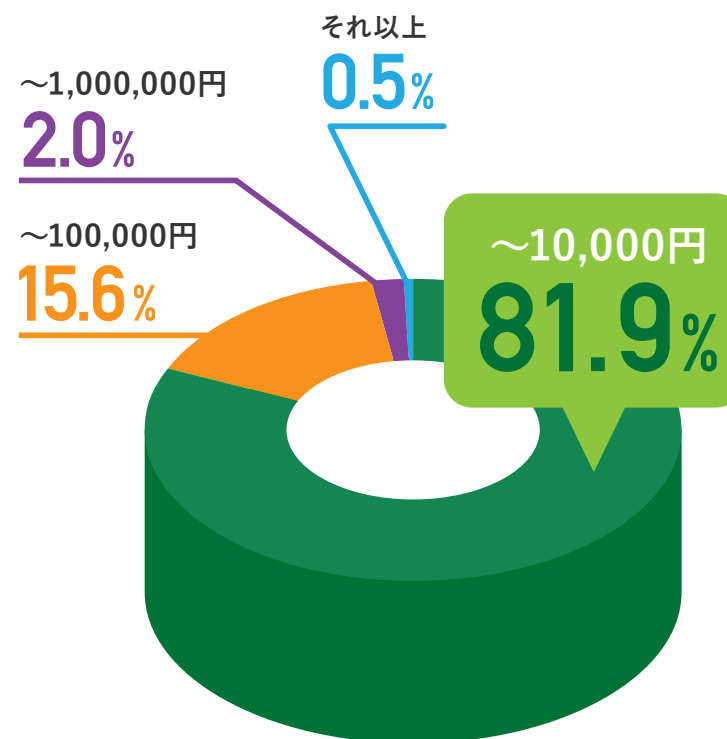
寄付の件数推移



個人/法人別 件数



個人のうち
10,000円以下のご寄付は **81.9%**

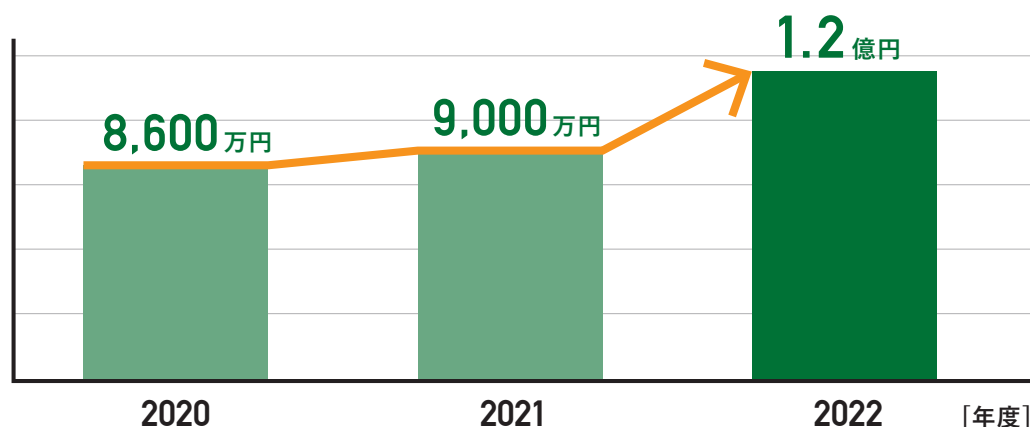




給付型奨学金の支給総額は1.2億円

2022年度給付型奨学金の総支給額は1億2,893万5,000円
うち、9,404万5,000円が皆さまからのご寄付です。

給付型奨学金の支給額推移



2022年度に貸与型奨学金を利用した青学生は

3,300人

青学生の
約4人に1人
が利用しています

貸与型奨学金

1年間の利用総額 ▶▶▶ 26億円

まだまだ給付型奨学金を必要としている学生がたくさんいるのが現状です。



どのように学生に寄付が届くの??

大学では、奨学金を取り扱う部署が、家計収入、家族構成などを見ながら総合的に審査し、経済的に困窮していると判断された学生に支給しています。



I LOVE 青学チャンネル

I LOVE 青学



動画でも奨学生の声をお届けしています！



354人

給付型奨学金
支給人数

皆さまからのご支援で354名へ 給付型奨学金を届けることができました。 ありがとうございました。

理工学部 3年生

私の両親は高齢であるため、決して収入が多くなく、家計が苦しい状況でした。そのため、学費はおろか、通学費や教材費などを収入で賄うことが困難でした。一方私は理工学部在籍しており、講義の受講や勉強に多くの時間を費やす必要があるため、アルバイトに注げる時間がほとんどありませんでした。今回、奨学金をいただいたことにより、両親の負担を少しでも減らすことができ、とても嬉しく思います。今後より一層勉強に力を入れ、社会貢献できる人間になろうと思います。



年間学費 約170万円

貸与奨学金 受給していない

アルバイト 週1回で月1〜3万円

教育人間科学部 3年生

私は大学で教育学を勉強していて、将来教育や人に携わる仕事をしたいと共に、大学生の間でも、学生だからこそできる様々な教育現場での仕事や学校以外でも教育の学びを得たいと考えておりました。しかし、受給前のアルバイト生活ではその機会や時間を得ることは厳しい状況でした。今回奨学金を受給することができ、私は今新しいことに挑戦しています。自身が学んでいる教育を、実際の教育現場に活かすことで、自分が教育において多くの生徒に教えたいと思っていたこと、教育現場で変えたかったことを実践できています。これは、奨学金という経済的支援がなければできなかったことです。今回支援していただいたことをさらに有意義なものにするべく、これからの大学での勉強にもより一層力を入れていく所存です。将来、教育の道に進んでいくにあたって、これからの大学生活でもっと多くのことに挑戦し、能動的に学び、より自分の今後の人生につなげていけたらと思います。そのような機会を与えてくださった寄付者の皆様の期待を超えていくつもりで、励んでまいります。本当にありがとうございます。



年間学費 約120万円

貸与奨学金 受給していない

アルバイト 週5回で月〜9万円

国際政治経済学部 4年生

我が家は父の収入だけで生活しており、父は自営業の工場経営の他に副業もして家族の生活費や私の学費を賄ってくれています。コロナ禍でますます収入は不安定になり、大学生活を続けることに不安を感じる時期もありました。両親の反対を押し切り学費のかかる私立大学に進学したことに長い間負い目も感じていましたが、奨学金を頂けたことで、残りの半年も集中して勉強に取り組むことができそうです。また、勉強以外にアルバイトにおいても、自分が大きなやりがいを感じられるアルバイトに出会い、お金を稼ぐことだけに捉われずに伸び伸びと働くことができているのは、皆様のご支援があってこそものだと感じております。就職活動も終わりに来年からは社会人となりますが、次は自分が下の世代に何かを還元していけるような人間になれるよう精進したいと思います。



年間学費 約120万円

貸与奨学金※ 受給している

アルバイト 週2回で月5〜7万円

総合文化政策学部 3年生

この度は採用いただきまして誠にありがとうございます。夏に父が新型コロナウイルスに罹ると続けて母も罹ってしまい、療養のために両親が10日間も仕事を休むことになってしまい、私も濃厚接触者になりアルバイトを休むことになりました。このような状況でも、奨学金をご支援いただいたおかげで、療養中、不安を抱くことなく過ごすことができました。さらに最近では、父の転職なども重なり、両親の経済的な負担が増したなかでの奨学金は大変ありがたかったです。おかげで経済的な心配をしないで学業に専念でき、充実した学生生活をおくれることを幸せに思っています。ご支援いただいたすべての方々に心から感謝いたします。



年間学費 約120万円

貸与奨学金※ 受給している

アルバイト 週3回で月3〜5万円

※日本学生支援機構(JASSO)の貸与型(第1種・第2種)奨学金



寄付者の みなさまの想いを形にします。

高等部PS講堂 パイプオルガン募金



募集期間 2021年4月～2025年3月まで

これまで多くの同窓生、生徒、保護者の皆様のご支援を賜り、当初の目標額を達成いたしましたこと、心より感謝申し上げます。しかしながら、昨今の円安と物価の高騰により、導入時期の変更を余儀なくされてしまっており、募集期間いっぱいまで継続させていただくことになりました。PS講堂に相応しいオルガン導入に向け、そして高等部生たちが本物のパイプオルガンの音色と共に礼拝を守ることができる日が一日も早く来るよう、引き続きご支援のほどどうぞよろしくお願いいたします。高等部長 渡辺 健

累計寄付額
9,553万6,200円

内、2022年度の寄付額
3,466万7,900円

幼稚園新園舎募金



募集期間 2022年12月～2026年3月まで

この度、青山学院創立150周年を記念して新園舎を建築する運びとなりました。創立以来、幼稚園で大切にしてきた「神様の守りの中で遊びが生まれる」という考え方のもと、今後50年、100年の間子どもたちが集う場所となるように、2025年の完成を目指しています。

幼稚園園長 山本 与志春

累計寄付額
1億1,345万5,000円

大学新図書館棟建築募金

募集期間 一期：2016年12月～2022年9月まで
二期：2022年10月～2024年3月まで



2024年に完成予定である青山キャンパスの新図書館棟は、学院創立150周年記念事業の一環として位置づけられています。

新図書館棟の名称は、青山学院の初代院長ロバート・S・マクレイ氏を記念し、「マクレイ記念館」に決定いたしました。今後新図書館を様々な研究・学習活動の拠点とし、青山キャンパスにおいて大きな役割を果たす中核施設の一つにして参りたいと考えております。

大学長 阪本 浩

累計寄付額
1億8,374万9,053円

内、2022年度の寄付額
2,476万5,202円

大学体育会スポーツ・文化活動



青山学院大学にはスポーツ学部はありません。しかし、体育会に所属してさまざまな競技スポーツに、しかもとても高いレベルで取り組んでいる学生は数多く存在しています。競技スポーツに専念してきた学生は、自身の所属学部に加えて主張できる学びが多くあります。「青山スポーツは他とは一味違うね」と言われるような、スポーツの価値を高め、広げる、活動を共に作り上げていきましょう。大学副学長 稲積 宏誠

5,000円以上のご寄付で
応援タオルをプレゼント

2022年度の寄付額
1億2,808万6,851円



青山学院を身近に感じていただくための取り組みをご紹介します。

AOYAMA
GAKUIN
×
FEILER



歴史と伝統に彩られたドイツ・シュニール織のブランド【フェイラー】と青山学院がコラボレーションすることでオリジナルデザインのハンカチが誕生しました。

フェイラーは、美しい発色でひと柄ひと柄薫り高い文化やストーリーを織り込んだシュニール織を代表するライフスタイルブランド。間島記念館やクリスマスツリーなど青山学院ならではのモチーフをちりばめました。ご寄付者様限定の非売品です。

選べるプレゼント品は 約110品!

想いがつながる 青学ギフト

2,000円からのご寄付で金額に応じてプレゼントをお選びいただけます。
プレゼントはすべて卒業生等が関わる企業の品となっています。

青山学院へ
寄付をする

給付型奨学金で
在校生を支援する

卒業生が関わる
企業の品が届く!

詳しくはWEBから!

青学ギフト



エンディングノートの
勉強会を開催
しました。



青山学院オリジナルエンディングノートをお持ちの方を対象とした企画をスタートしました。第1弾は「これまで」と「これから」を考える勉強会と懐かしの青山キャンパスツアーです。今後も新しい企画を考えておりますので、楽しみにお待ちください。

毎週金曜日に青山学院の
最新情報をメルマガ配信しています。



I LOVE
青学

登録
無料

登録はこちら!





皆様からのご寄付に感謝の意を表します。

寄付者の皆さまに感謝の気持ちを込めて、
限定イベントにご招待しています。

新型コロナウイルスの感染拡大がはじまり、ご寄付者の皆さまへ直接お礼をお伝えするイベントが次々に中止となりましたが、2022年度は感染予防対策に配慮しながらもさまざまなイベントを開催することができました。

2021年4月から2022年8月の間にご寄付を下された皆さまを対象にゴスペルイベントを開催いたしました。当日はゴスペルシンガーのNOBU氏を迎え、青山学院のオリジナルソング「WE ARE SERVANT LEADERS」を一緒に歌いなどして楽しいひと時を過ごせました。

2023年3月には、理事長主催の「感謝の催し」も開催されました。学院および各設置学校執行部との懇親の時間を持つことができました。※「感謝の催し」はご寄付が1年間で100万円以上の方が対象となります。



ゴスペルイベント



感謝の催し

青山学院寄付の顕彰制度

維持協力会募金へのご寄付累計および2015年度以降の万代基金へのご寄付の累計額を合算して顕彰いたします。

さらに高額のご寄付をいただいた方には、別途サロンをご用意しております。

500万円以上 1874クラブ

100万円以上 青学ミリオンクラブ

50万円以上 青学フィフティクラブ

25万円以上 青学クォータークラブ

ご寄付のお礼

理事長 堀田宣彌



皆様におかれましては、平素より青山学院の募金事業に多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。万代基金は給付奨学金、教育研究そして万代基本基金という3つを柱として皆様からの貴重なご寄付を活用させていただいており、2022年度は総額11億8千万円というご寄付を賜りました。昨年度は幼稚園新園舎募金がスタートし、高等部パイプオルガン、大学新図書館棟、大学スポーツ支援へも多大なるご寄付をいただきましたこと改めて御礼申し上げます。

いよいよ2024年に青山学院は創立150周年を迎えます。学院の未来構想を策定する未来構想委員会や、創立記念事業を統括する青山学院創立150周年記念事業委員会、またそれらを実行に移す委員会等が設けられ、実施に向けて動き出しています。青山学院の伝統を未来へと繋ぐ大切な節目として全力で取り組んで参ります。

引き続き、Be the Difference “世界は一人ひとりの力で変えられる”という新経営宣言のもとに、一人ひとりを大切にする教育に注力し、個性を重んじ他者を受け入れ、サーバントリーダーとして世界へ羽ばたく人間教育に邁進していく所存です。

青山学院をお支えくださっている皆様には、引き続き変わらぬご支援とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

Be the Difference®

“世界は一人ひとりの力で変えられる”

SNSで学内の「今」をお伝えしています！

青山学院を応援してくださる方に旬な情報、教育研究活動、寄付に関する情報を発信しています。ぜひフォローをお願いします。

公式Twitter



公式YouTube



公式Facebook



万代基金の募集は、校友、保護者、教職員、お取引先などすべてのステークホルダーの方々に広く年間を通じて常時ご支援をいただけるようにご案内するものです。なお、寄付金の対価として、何らかの利益または便宜供与を条件とされる場合は、ご寄付の受領を辞退させていただきますので、ご了承ください。

詳細はお気軽にお問い合わせください。

学校法人青山学院 学院連携本部

〒150-8366

東京都渋谷区渋谷4-4-25

2023年7月発行

Tel. 0120-900-420

